

大腸癌肝転移治癒切除後の患者に対する術後補助化学療法として、L-OHPベース化学療法にUFT/LV療法の逐次療法を行うことの安全性と有用性の検討

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。
研究に関する問い合わせ等がありましたら、以下の連絡先にご連絡ください。

研究課題名	大腸癌肝転移治癒切除後の患者に対する術後補助化学療法として、L-OHPベース化学療法にUFT/LV療法の逐次療法を行うことの安全性と有用性の検討
倫理審査 受付番号	第2563号
研究期間	2017年 2月倫理審査承認日～2022年 3月31日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に当院 肝・胆・膵外科を受診された、肝細胞癌の方 2017年 2月15日～2022年 3月31日
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報
研究概要	(研究目的、意義) 大腸癌肝転移治癒切除後の患者さんに対する術後補助化学療法として、L-OHPベース化学療法（mFOLFOX6療法あるいは

はCapeOX療法)にUFT/LV療法の逐次療法を行うことの安全性と有用性を確認することが目的です。安全性と有用性を実証することができれば、大腸癌肝転移治癒切除後の患者さんにとって術後補助化学療法の選択枝が増え、意義深いとかがえられます。

(研究の方法)

大腸癌肝転移治癒切除後の患者さんに対して、本研究に登録後 2週間以内に術後補助化学療法として L-OHP ベース化学療法 (mFOLFOX6療法 あるいは CapeOX療法) を開始します。mFOLFOX6療法は2週間隔投与を 1コースとして、6コースまで繰り返します。CapeOX療法は3週間を1コースとして4コースまで繰り返す。それぞれの規定の コース終了後に画像評価を行い再発がないことを確認した後、 UFT/LV療法を開始します。 UFT/LV療法は 28 日間投与 7日間休薬を 1コースとして、 3コースまで繰り返します。

(個人情報の取扱い)

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って本研究を実施し、被験者の人権、福祉および安全を最大限に確保する。本研究に際して得られた個人情報等、患者さんのプライバシーは外部に漏洩しないよう配慮します。

**本研究に関する
連絡先**

兵庫医科大学病院 肝・胆・膵外科
藤元 治朗 (実施責任者)

TEL | (平日 9 : 00 ~ 17 : 00) 0798-45-6582
(上記時間以外) 0798-45-6583